【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【公開番号】特開2008-209324(P2008-209324A)
【公開日】平成20年9月11日(2008.9.11)
【年通号数】公開・登録公報2008-036
【出願番号】特願2007-48253(P2007-48253)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｌ　5/00　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/00　(2006.01)
Ｇ０１Ｌ　1/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｌ　5/00　１０１Ｚ
Ａ６１Ｂ　5/00　１０１Ｒ
Ｇ０１Ｌ　1/02

【手続補正書】
【提出日】平成22年1月28日(2010.1.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
圧力伝達媒体が内部に充填される複数の媒体収容体と、各前記媒体収容体毎に設けられて前記媒体収容体に入力された圧力を圧力伝達媒体の圧力変化を検知する１つの検知手段を設けた１つの圧力検知箇所に導く、相互に異なる大きさの内径を有して相互に圧力損失係数の異なる接続管路とを備えた圧力計測用マットと、
前記圧力検知箇所での圧力変化を検知する検知手段と、この検知手段で検知した圧力変化に基づき前記圧力計測用マット上での圧力の分布及び強さを計測する計測手段と、この計測手段による計測結果に基づいて前記圧力計測用マット上での被験者の身体の位置又は移動を算出する身体位置算出手段とを備えて被験者の生体情報を取得することを特徴とする生体情報取得装置。
【請求項２】
前記圧力計測用マットの内径の小さな前記接続管路は、内径の大きな前記接続管路に比べて長い管路長を有していることを特徴とする請求項１に記載の生体情報取得装置。
【請求項３】
前記圧力計測用マットの内径の小さな前記接続管路は、内径の大きな前記接続管路に比べて開口比の小さな絞り部、又は、多くの絞り部を有していることを特徴とする請求項１又は２に記載の生体情報取得装置。
【請求項４】
前記圧力計測用マットの入力された圧力が内径の小さな前記接続管路で前記圧力検知箇所に導かれる前記媒体収容体は、入力された圧力が内径の大きな前記接続管路で前記圧力検知箇所に導かれる前記媒体収容体に比べて、肉厚に形成されていることを特徴とする請求項１～３の何れかに記載の生体情報取得装置。
【請求項５】
前記圧力計測用マットの各前記媒体収容体は管路から構成されており、入力された圧力が内径の小さな前記接続管路で前記圧力検知箇所に導かれる前記媒体収容体は、入力され

た圧力が内径の大きな前記接続管路で前記圧力検知箇所に導かれる前記媒体収容体に比べて、小さな内径を有していることを特徴とする請求項１～４の何れかに記載の生体情報取得装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】生体情報取得装置
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、圧力計測用マットを用いた生体情報取得装置に関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は斯かる課題に鑑みてなされたもので、上記課題を解決できる生態情報取得装置を提供することを目的とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
このような目的を達成するために、本発明の生体情報取得装置は、圧力伝達媒体が内部に充填される複数の媒体収容体と、各前記媒体収容体毎に設けられて前記媒体収容体に入力された圧力を圧力伝達媒体の圧力変化を検知する１つの検知手段を設けた１つの圧力検知箇所に導く、相互に異なる大きさの内径を有して相互に圧力損失係数の異なる接続管路とを備えた圧力計測用マットと、前記圧力検知箇所での圧力変化を検知する検知手段と、この検知手段で検知した圧力変化に基づき前記圧力計測用マット上での圧力の分布及び強さを計測する計測手段と、この計測手段による計測結果に基づいて前記圧力計測用マット上での被験者の身体の位置又は移動を算出する身体位置算出手段とを備えて被験者の生体情報を取得することを特徴とする。
また、本発明は、前記圧力計測用マットの内径の小さな前記接続管路は、内径の大きな前記接続管路に比べて長い管路長を有していることを特徴とする。
また、本発明は、前記圧力計測用マットの内径の小さな前記接続管路が、内径の大きな前記接続管路に比べて開口比の小さな絞り部、又は、多くの絞り部を有していることを特徴とする。
また、本発明は、前記圧力計測用マットの入力された圧力が内径の小さな前記接続管路で前記圧力検知箇所に導かれる前記媒体収容体は、入力された圧力が内径の大きな前記接続管路で前記圧力検知箇所に導かれる前記媒体収容体に比べて、肉厚に形成されていることを特徴とする。
また、本発明は、前記圧力計測用マットの各前記媒体収容体は管路から構成されており、入力された圧力が内径の小さな前記接続管路で前記圧力検知箇所に導かれる前記媒体収

容体は、入力された圧力が内径の大きな前記接続管路で前記圧力検知箇所に導かれる前記媒体収容体に比べて、小さな内径を有していることを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明によれば、１つの圧力検知箇所に１つの検知手段を設けるという簡単な構成により、入力される圧力の分布を、加えられた圧力の強さと共に測定することが可能となる。また、本発明によれば、圧力計測用マットに加えられる圧力の検出手段を１つ設けるという簡単な構成により、被験者の体動の種類も測定することが可能となる。